

毛呂山町スマートシティ先行モデル事業実行計画（毛呂山町）

民間主体のまちづくり会社による新技術を活用した事業展開で、小規模自治体における持続可能な地域づくりに資する社会システムを構築。

目標

- ・毛呂山町新規進出企業数：10社（2030年）
- ・目白台における自家用車依存率：76%（現状）→60%（2030年）
- ・義務的経費比率：48.5%未満を実現（2024年）

取組概要

自動運転バス	飛び地のニュータウンであり、鉄道駅徒歩圏外である目白台地区に、独立採算による鉄道駅までの自動運転バスを実装し、中山間地域等への展開も検討
農業生産性向上	無人型作付けや収穫を実現する自動耕作や鳥獣監視及び対策のドローンで農業生産性を向上
持続可能エネルギー	再生可能エネルギーや蓄電池により日常利用と被災停電時非常利用可能な電力分散自律化を地域グリッド化も目指し推進
行政効率化	RPAの導入等、先端自動化技術による公共サービス効率化及び収益性改善を実現
IoT基幹インフラ	官民データを活用にむけ、IoT基盤として既存通信網や埼玉県が整備したLPWAを活用し、各種端末との連携を進める

将来像

目白台地区

町役場等でのRPA導入

持続可能エネルギー

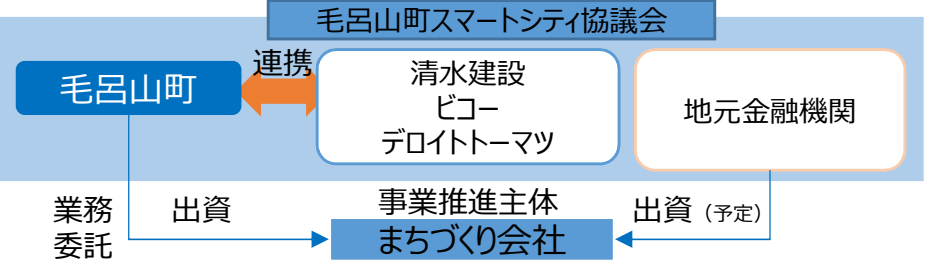
自動運転バス

自動耕作・農業ドローン

IoT基幹 インフラ（既存通信網・LPWA等）

※2020年4月現在F/S中の事業も含む

体制



スケジュール

